

授業のヒント

日本語の授業の中でみなさんは会話の練習をどのように進めていますか。今回は前回のロールプレイに引き続き、会話文を読まないで会話の練習をするためのアイデアを紹介したいと思います。

なまえ いっしょに行きませんか

目的
友だちを誘えるようになる。誘いを受けたり断ったりできるようになる
学習者のタイプ
初級
クラスのタイプ
6人以上
準備するもの
チケットを3種類以上

授業の時、小さな道具が学習者にとって話そうという動機になることがあります。ここでは誘ったり断ったりする会話の小道具としてチケットを使います。前号の「ロールプレイ」ではロールカードで話す内容を提示しましたが、この「いっしょに行きませんか」ではチケットがその役割をします。

方法

準備

▶ 野球、コンサート、映画などのチケットを2枚ずつ作ります。チケットには場所や日時をきちんと書いてください。(日時は将来のものにしてください)

例:



教室で

(1) 先生は、学生に野球、コンサート、映画などの好き嫌いをたずね、もし、学生が好きだと答えたら誘います。

学生は自由に誘いを受けたり、断ったりします。もし、学生の言い方が適切でなかったら直します。

例1 先生：ライさん、映画は好きですか。
学生：はい、好きです。
先生：そうですか。チケットがあるんですが、いっしょに行きませんか。
学生：いいですね。行きましょう。

例2 先生：ライさん、映画は好きですか。
学生：そうですねえ。映画はちょっと…
先生：そうですか。残念ですね。

(2) 今度は逆に学生に先生を誘わせます。先生は誘われたら、「いつ」「どこで」「どんな内容か」を学生に質問してください。何人かの学生に誘わせて、断る時のモデルも提示してください。

例1 先生：先生、映画は好きですか。
先生：はい、好きです。
学生：そうですか。チケットがあるんですが、いっしょに行きませんか。

先生：いいですよ。いつですか。
学生：来週の日曜日です。
先生：大丈夫ですよ。何時からですか。
学生：午後2時からです。
先生：場所はどこですか。
学生：銀座のシネマ2です。
先生：何の映画ですか。

例2 先生：先生、映画は好きですか。
先生：はい、好きです。
学生：そうですか。チケットがあるんですが、いっしょに行きませんか。

先生：いいですよ。いつですか。
学生：来週の土曜日です。
先生：来週の土曜日ですか。その日はちょっと用事があって…

学生：そうですか。残念ですね。
先生：また今度誘ってください。



- (3) 学生をペアにします(学生AとB)。学生Aに準備したチケットを2枚渡し、学生Bを誘わせます。
- (4) 終わったら、学生Aに誘えたかどうか確認します。もし、断られた場合には、その理由を発表させます。

応 用

- ▷ チケットを作るときには、学習者のレベルや文字の知識に応じて、ローマ字やひらがなを使ったり、漢字にふり仮名をふったりしてください。学習者のレベルによっては日本で使われている本当のチケットにすると、学習者の興味をひくでしょう。
- ▷ 相撲や歌舞伎など、日本文化に関係のあるもののチケットにしてもいいでしょう。東京の場合、歌舞伎は歌舞伎座・国立劇場などで、相撲は国技館で行われますので、チケットにはそういう場所を書くと、日本の紹介にもなります。学習者にわかりやすいように絵をか

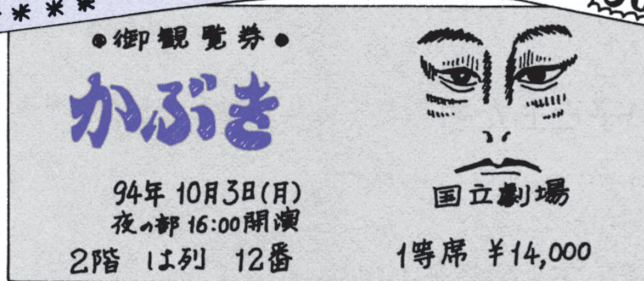
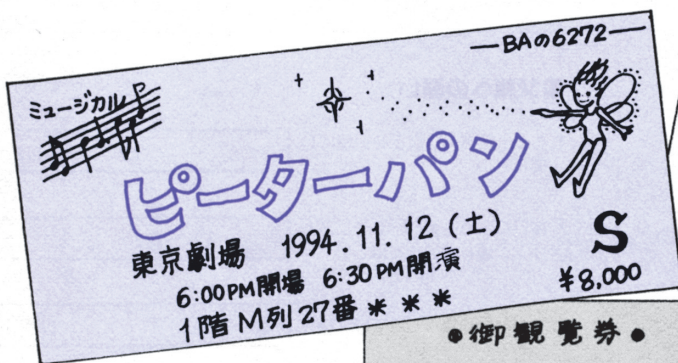
いたり、雑誌の切り抜きなどをはってもいいでしょう。

▷ 皆さんの国で人気のあるスポーツや映画のチケットにしたり、実際に学生がよく行く場所を選んでチケットを作ってもかまいません。または、皆さんの国の本当のチケットを使って日本語で誘わせるのもいいでしょう。

● 注意点

チケットは、同じ日時のもを2枚ずつ用意してください。また、本当のチケットを使うときは、日時を将来のものに変えるようにしてください。

* 今回は、平成5年度日本語国際センター長期研修生、タイのチェンマイ日本語学校のアチャラーさんのアイデアをもとにしました。アチャラーさんは、『日本語コミュニケーションゲーム80』(CAGの会編、The Japan Times)の中の「コンサートに行きませんか」を参考に自分の学習者のレベルに合わせて活動内容を変えたり、チケットを作り直したりしたそうです。



会話をさせたり、授業を楽しむためのアイデアを考えるのはなかなか大変です。でも、小さな工夫ひとつで学習者が生き生きすることがあります。自分の小さなアイデアをつまらないものと考えないで、実行してみてください。少しでも効果が見られたら、他の先生にも紹介してあげたらどうでしょうか。そして、もちろん、この「授業のヒント」に教えてくれることも忘れないでくださいね。



このコーナーの担当：笠原ゆう子 木山登茂子(日本語国際センター日本語教育専門員)